

平成 22 年度学力試験問題の「出題意図」・「評価ポイント」について

数 学 【昼間コース 一般入試：前期日程】

センター試験でみることができない、問題解決にいたるプロセスをみることに主眼があります。
 ただ、記述式文章題のみではバランスを欠く恐れがあるので、穴埋め問題も配置してあります。

	出題意図	評価ポイント
I 一群・二群共通	対数計算・確率統計・素因数分解等の初等的な応用力をみる。	穴埋め問題であるので完全解答が求められるが、部分的に正しいと認められる場合はある程度評価した。
II 一群・二群共通	2次不等式を含む3つの不等式を満たす領域を求め、その最小値を計算できるかをみる。	場合分けを用いて領域の面積 S を求められたか、微分計算を利用して最小値を求められたかをみた。
III 一群・二群共通	三角関数・確率統計・接線問題等の初等的な応用力をみる。	穴埋め問題であるので完全解答が求められるが、部分的に正しいと認められる場合はある程度評価した。
IV 一群	与えられた条件から関数の性質を導きだす能力をみる。	与えられた条件から解答を正しく導き出せたかをみた。
V 二群	原点を中心とした回転移動を計算する能力をみる。	行列および極座標を用いて回転移動を計算することができるかをみた。